

平成30年10月1日から令和元年9月30日までの東成区区政会議の運営状況

区政会議の委員の定数の基準及び会議録等の公表等に関する規則第5条第1項第1号から第6号について、次のとおり公表します。

(1) 第1号

対象期間において委員であった者の氏名及び委員であった期間

東成区区政会議員名簿（敬称略・50音順）

氏名	選定事由等	所属部会名	委員の期間
阿形 正一	東中本まちづくり活動協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
池田 カヅ子	北中道地域活動協議会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
石川 洋志	公募	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
石田 和美	東成区社会福祉協議会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
石塚 克哉	北中道地域活動協議会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
板垣 理恵子	東中本まちづくり活動協議会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
井上 吉史	公募	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
上田 具視	今里まちづくり活動協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
大谷 慶子	宝栄地域活動協議会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
岡倉 三郎	東成区遺族会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
貝本 實次	片江地域協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
北澤 高志	東成交通安全協会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
北村 旺加子	東成母子会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
栗巢 和子	大成地域福祉連絡協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
齊藤 小栄子	東小橋地域活動協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
下村 直美	深江まちづくり活動協議会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで

新家 裕子	中道地域活動協議会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
神藤 加代子	東成区地域女性団体協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
末光 京子	片江地域協議会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
高野 千壽子	今里まちづくり活動協議会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
高橋 芙美子	東成区商店街連盟連合会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
田中 良和	東成区スポーツ推進委員協議会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
茶谷 儀夫	東成地区保護司会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
東方 宏祐	神路地域活動協議会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
徳永 政喜	中道地域活動協議会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
永門 武志	東成区青年団体協議会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
中谷 誓吾	大阪市コミュニティ協会東成区 支部協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
鍋田 仁史	公募	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
羽鹿 誠一	東成区民生委員児童委員協議会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
林 正則	東成区医師会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
早見 文子	東成区PTA協議会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
福永 美和子	公募	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
藤井 宣昭	東成区PTA協議会 推薦	子ども・教育	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
藤溪 達夫	東成区地域振興会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
細谷 悦子	神路地域活動協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで
本間 良文	東小橋地域活動協議会 推薦	保健福祉	平成30年10月1日から 令和元年9月30日まで

松田 好行	深江まちづくり活動協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成 30 年 10 月 1 日から 令和元年 9 月 30 日まで
三枝 直美	中本地域活動協議会 推薦	保健福祉	平成 30 年 10 月 1 日から 令和元年 9 月 30 日まで
森井 フミ子	公募	保健福祉	平成 30 年 10 月 1 日から 令和元年 9 月 30 日まで
山口 晴康	宝栄地域活動協議会 推薦	子ども・教育	平成 30 年 10 月 1 日から 令和元年 9 月 30 日まで
吉谷 忠之	東成工業会 推薦	にぎわい・きずな	平成 30 年 10 月 1 日から 令和元年 9 月 30 日まで
吉本 紀美子	中本地域活動協議会 推薦	にぎわい・きずな	平成 30 年 10 月 1 日から 令和元年 9 月 30 日まで
米原 俊夫	大成地域福祉連絡協議会 推薦	保健福祉	平成 30 年 10 月 1 日から 令和元年 9 月 30 日まで

(2) 第 2 号、第 3 号

区政会議の開催日の日時、場所及び委員に意見を求めた事項

平成 30 年度第 2 回東成区区政会議開催概要

開催日時	場所	委員に意見を求めた事項	条例上の 根拠規定
平成 31 年 3 月 6 日 19 時～20 時 45 分	東成区民センター 2 階大ホール	平成 31 年度東成区運営方針（案） 及び予算（案）について	条例第 5 条 第 1 項

令和元年度第 1 回東成区区政会議開催概要

開催日時	場所	委員に意見を求めた事項	条例上の 根拠規定
令和元年 6 月 18 日 19 時～20 時 44 分	東成区民センター 2 階大ホール	平成 30 年度東成区運営方針の振 り返りについて	条例第 5 条 第 1 項

(3) 第 4 号

条例第 9 条第 1 項に基づき区長が講じた措置の内容

委員の意見	区長が講じた措置
プログラミング教育について、生徒数に対して タブレットの数が少ない場合があると聞く。児 童数を予測して全生徒分のタブレットを確保 するべきではないか。	・プログラミング教育も含めた教育 ICT の活用 については、現在、教育委員会事務局において、 タブレット端末の整備はもとより、ICT 環境面 や現場教員への支援などと合わせて総合的に 検討されているところです。タブレット端末の 配備は各校 40 台が基本になっていますが、活 用方法などを検証しながら議論されています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・東成区では、グループで使うなど多様な使い方の好事例を学校長と共有するとともに、教育委員会事務局に対しても機を捉えて意見交換するなど、効果的な活用が進むよう働きかけています。
<p>学校協議会への地域の参加について、各小学校によってバラつきがあると思うが、報告を受けるだけのことが多く、地域が参加する意味が見いだせない。また、報告書を作ることで先生の本業以外の部分での負担が多くなっているのではないか。内容や進め方を工夫してはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校協議会は大阪市立学校活性化条例に基づき、すべての学校園に置くこととされた組織で、保護者や地域住民の皆さんの学校運営への参加を促進し、その意向を反映することにより開かれた学校運営を実現し、より良い学校教育を推進しています。 ・開催状況や課題を東成区として把握するとともに、会議の進め方や内容の充実に向け学校長と意見交換を進めます。
<p>すくすく・つながるクラブについて、部会意見をすぐに実行に移し、広報紙に掲載したことは区民、商店への良いPRになった。更なる協賛店舗数の拡大を。</p> <p>カードを配っている主任児童委員の存在を区役所からもっとPRすれば保護者も安心して相談にいけるのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協賛店舗の拡大については、広報紙特集記事(平成30年12月号)を見た商店の方から申込みを受けるなど、広報紙の効果が非常に高く、協賛店舗が増えているところです。また、引続き東成区商店街連盟連合会の協力のもと各商店への協力を依頼しているところであり、店舗数拡大につながっています。一層の拡大をめざし、引続き商店への協力を求めたいと考えています。 ・また、主任児童委員についても、今年度増刷分の「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」リーフレットにおいて、その紹介を大きく目立つところにレイアウトするとともに、それを活用し引き続き、身近な地域の相談者である主任児童委員を知ってもらい相談しやすくなるよう、様々な機会でもPRします
<p>介護、福祉等の担い手について、2025年には団塊の世代が全て75歳以上になる。また、年金支給が遅くなっていることから地域活動の担い手がさらに不足することが考えられる。新たな担い手の発掘など検討していくべきではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり、少子高齢化に伴う高齢者の増加、生産年齢人口の減少等により、介護・福祉人材の不足が見込まれ、厚生労働省が発表した需給推計によると、2025年度には、およそ38万人の介護職員が不足すると推計されています。 ・そういった状況の中、高齢者食事サービスや見守りや声掛け活動をはじめとした、地域住民の参画による、住民どうしの支え合いによる活動(地域福祉活動)の取組みが一層重要となっています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・東成区においても、各地域で取り組まれている地域福祉活動の維持・継続や広報活動を行っていくとともに、活動への男性の参加促進を図るなど、新たな担い手の発掘に取り組みます。 ・また、住民どうしの支え合い活動の創出・充実・ネットワーク化に取り組む「生活支援体制整備事業（市実施事業）」と連携を図りながら、既存の活動における新たな担い手の発掘につながるよう取り組んでいきます。
<p>おまもり手帳について、現在は加入促進を重点的に行っているが、次の段階として、おまもり手帳を家に置いておくだけでなく使ってもらえるようにしないといけないのではないかと。そのためにも、手帳内容の更新をしていく必要があるのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東成区の地域の取組みである「おまもりネット事業」については、その活用や内容の更新が重要と考えており、区内関係機関の代表者が参画し地域福祉のあり方について検討する、「地域生活支援システム専門分野別実務者会議」において、機能やあり方を議論するとともに、東成区社会福祉協議会及び地域の支援者で構成する「おまもりネット事業ワーキング」においても同様に議論を重ねました。 ・その中で、手帳内容の更新についても検討し、今後利用者と地域福祉活動サポーターが、定期的に接点を持つ機会を増やすことができるような取組みを進めていくこととなりました。 ・また、これに合わせ、ふれあいパンジー（東成区役所1階の区民交流スペース）や、区内のスーパー・郵便局で行う同事業の相談会の場においても、登録者の方への更新勧奨をしてまいります。 ・引き続き、区役所、東成区社会福祉協議会、地域福祉活動サポーターが協働のもと、地域の福祉活動者や、医療や介護の専門職と連携し、同事業の充実に取り組んでいきます。
<p>健康づくりについて、欠食児童に対する対策としては保護者への啓発がすごく大事ではないかと。小中学校での取組みとして、食育の大切さを教育していくことと同時に、孤食をしている高齢者も含めて考えていくべきではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の啓発については、第3次大阪市食育推進計画の中でも小中学校において保護者向けの啓発に取り組むこととされており、小学校では「給食だより」を毎月発行するなど、それぞれの学校が食育情報や朝食の大切さについて啓発を行っているところです。 ・また、区役所においては、保護者の集まりやすい時間帯に実施することが難しく、学校との連携が必要となりますが、1人の栄養士が、食育事業も含め多くの事業を実施していること

	<p>から、実現には至っていないのが現状です。区役所としましては、小中学生に対する食育を通じ、子ども自身の朝食の大切さの意識を高め、保護者に伝わっていくような啓発を引き続き実施していきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、高齢者の孤食も含めた食育については、平成 31 年度の健康づくり講演会で、「ライフスタイルの多様化と孤食」をテーマに食事の大切さについての講演と情報提供を実施する予定です。
<ul style="list-style-type: none"> ・「企業区民連携フォーラム」について、非常に期待している。ことに留学生の参加は、大いに進めてもらいたい。 ・「ひがしなりソケット LAB」など、漠然としているので、具体的なものを案内され、委員が参加できればよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東成区では、平成 30 年 3 月、東成区で事業を営む企業や各種法人の皆さまの CSR 活動や SDGs（持続可能な開発目標）への貢献に向けた活動を支援することを目的として「ひがしなり企業区民連携フォーラム」を立ち上げています。あわせて同年 4 月には、このフォーラムを持続的な社会運動として“育てる”ためのプロジェクトとして「ひがしなりソケット」を開始しました。 ・令和元年度は「ひがしなりソケット LAB」1 期生によるプロジェクトの実施並びに 2 期生募集を行うとともに、経済戦略局と連携し留学生が参加、参画する多文化共生も展開していきます。また、一般の皆さまを対象に、6 月 23 日（日）「KICKOFF！ひがしなりソケット 2019」の開催も予定しており、広く活動を周知いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・「東成区の地域資源」魅力発信事業について、企業の方より、今後はできるだけ町の人に見学等、イベント等、たくさん来ていただくように考えていきたいという話があった。 ・東成区はモノづくりのまちであるので、まちの活性化のためにも、この取組みに期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東成区は「モノづくり」にスポットをあて、「東成こどもモノづくり体験フェスタ」や「わが町工場見てみ隊」等の取組みを行っています。まちの活性化につながるよう、モノづくり企業等の皆さま方と連携しながら、引き続き「モノづくり」を活かした取組みを行います。
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年 3 月 16 日にこの区民センターで行われる「東成こどもモノづくり体験フェスタ」に去年参加したところ、なかなかいい企画であった。 ・『東成区伝統工芸活用事業の取組みとなっている]菅(すげ)細工体験なども参加できるので、委員の皆さんも、見学参加されてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度についても、次世代を担う子どもたちに「東成区の地域資源」であるモノづくりに関わる機会を提供するための体験型イベント「東成こどもモノづくり体験フェスタ」を開催する予定です。 ・このイベントは、広く区民の皆さまに参加してもらえるよう、区広報紙や SNS 等を活用した情報発信に努めます。イベント開催時には、委

	員の皆さまもぜひご見学ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・11連合のうち8連合が取り組まれている「市民協働による地域課題解決に向けた活動の活性化事業」は、地域のつながりの希薄化や活動の担い手確保など、地域共通の課題の解決に向けた取り組みである。 ・来年度も継続にあたり、今後、どのようなイベントをとるか、どう活性化づくりを見ていったらいいかということで、各連合で創意工夫され、さらなる前進が期待されるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、まちの課題の解決に向けた活動の活性化を図る取り組みとして平成30年度より2カ年計画で実施しています。 ・平成30年度は、8地域で地域団体等が持つ発想や資源、ノウハウを活かした効果的な取り組みを実施しました。令和元年度も、引き続き地域団体等からの企画にもとづき実施するとともに、区との協働事業とすることでより効果的な事業となるよう取り組んでいきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・「東成区の伝統工芸活用事業」で取り上げる菅細工について、映像化されるとのことで、皆期待しているので、各連合にも配られてはどうか。 ・また、深江地域では、菅(すげ)細工体験教室を、週1回で4か月かけて取り組んでおられる。平成31年3月のモノづくり体験フェスタでも体験教室はあるが、見学に行かせてもらってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度新たに、東成区の伝統工芸である「菅細工」のPR映像を製作し、区内外へ発信を行うため、WEB上での配信や区内小中学校等へのDVDの配布を予定しています。また、各連合へのDVD配布についても、今後検討していきます。 ・さらに、広く区民の皆さまに参加してもらえよう、東成区民センターで「菅細工教室」を開催する予定としており、区広報紙やSNS等を活用した情報発信に努めます。教室開催時には、委員の皆さまもぜひご見学ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもたちと体験するSDGs事業（新規事業）」では、間伐材を使った木工体験教室などいろいろな体験フェスタが企画されている。 ・本事業は、SDGsのための新規事業でもあるので大変期待しており、広報等でPRされることなので、委員の皆さんも見学にも起こしされてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度新たに、子どもたちや保護者を対象に、森林環境保全やSDGs（持続可能な開発目標）の理解を深めてもらえるよう、東成区民センターや身近な公園などで森林にまつわる体験学習や東成区役所内のふれ愛パンジーで木工体験教室を実施します。 ・新規事業ですので、学校を通じて区内小学校全児童に対して開催案内の配布を行うとともに、区広報紙やSNS等を活用した情報発信にも努めます。イベント開催時には、委員の皆さまも、ぜひご見学ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化について、最近どこの商店街でもシャッターがおりたままというところが多くなってきている。 ・深江連合ではそういった商店街を何とか活性化する取り組みが平成31年4月29日計画されている。かなり頑張っておられる取り組みとのことなので、皆さんも見学されてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深江地域において、4月29日（月・祝）に商店街（深江新道筋）の空き店舗を活用した「笠まる市」が開催されました。昭和の時代を懐かしみ、深江の商店街を1日だけ復活させる一大イベントでしたが、他地域の方々も多く参加され、活気にあふれていました。 ・区役所としても、このような地域の取り組みについても、SNS等を通じて情報発信に努めます。

<ul style="list-style-type: none"> ・区政会議に出て、初めて知るイベントがたくさんあった。 ・各地域いろんなイベントをやっているので、チラシができるタイミングが異なるが、年に何回か委員に情報提供をしていただければ、お互いに知ることができるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東成区では、毎月初めに発行している広報紙「ひがしなりだより」をはじめ、区ホームページや区内広報板において、区政情報を発信しています。また、SNS（ツイッター、フェイスブック等）など様々な媒体で周知しております。委員の皆さまに、積極的に情報収集していただけるよう、区政会議の開催時期などのタイミングをとらえて、区役所で実施しているイベントについてもご紹介していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域におけるプログラミング教育支援事業（新規事業）」では、実施時期はいつか、夏休みなのか、対象者は誰かなど、これから詳しく決まるということである。 ・実施にあたっては、区役所と学校でよく相談されて、委員にも内容を教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、プログラミングのソフトである「スクラッチ」を用いた「スクラッチでオリジナルゲームを作ろう（制作講座）」と「ロボットプログラミング教室及び支援ボランティア育成講座」を区内2小学校でそれぞれ実施予定としています。受講対象者は「スクラッチ～」は4～6年生の児童、「ロボット～」は6年生の児童及び保護者を中心とした地域住民となります。実施時期はいずれも夏休みに課外授業としての実施を予定しています。 ・令和元年度は基本となる事業を立ち上げ、効果検証しながら事業内容を好事例として各学校とも共有します。受託事業者は4月に公募し、6月に決定いたします。事業が円滑に実施されるよう、区役所と学校、事業者で連携を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力向上事業について、アスリートが学校で子どもたちに水泳や走り方、鉄棒等を教える取組みであるが、去年と今年を比較して、どれだけうまくなったかなどについて、なかなかわかりにくい。 ・全国や大阪市でも子どもの体力測定の結果が出されていることから、この事業による体力向上について、何か検証されてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国が実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は、国の調査方法として「小学5年生」「中学2年生」のみを対象としているものであり、結果について経年で比較することが出来ません。そのため、児童から「関心」「技能」「理解」などの項目を設定したアンケートを取ることなどにより総合的に事業評価を行います。 ・本事業の目的は、区が学校教育のサポートを行うという役割分担のもと、限られた種目・時間数の中でも児童が運動やスポーツに取り組むきっかけとして運動の楽しさや達成感を得ることです。また、専門知識を持った事業者の指導ノウハウを教員が活用することにより、児童の体力向上に繋げていくことも目的としています。学校が求める種目の聞き取りなど意向

	<p>を反映しながら事業実施できるよう、区役所と学校、事業者で連携を図ります。</p>
<p>・すくすく・つながるクラブについて、部会意見をすぐに実行に移したことで、広報紙の掲載を通じて、区民、商店へのPRを行い、協賛店舗の大幅拡大につながるなど、結果が出たことは部会委員にとってもやりがいにつながった。</p>	<p>・部会でいただいた様々なご意見やアイデアにつきましては、真摯に受けとめ実行に向けた検討を行いますので、引き続き闊達なご議論をお願いいたします。</p> <p>・また、すくすく・つながるクラブの協賛店舗の拡大は、地域の中で子育て家庭を見守って頂ける場所が増え、子育てしやすい環境の広がりにつながっていくものと考えていますので、引き続き拡大を目指します。</p>
<p>・担い手が高齢化し、世話する人もされる人もみな高齢化が進んでいる。そのような状況の中で、地域活動や百歳体操などの健康づくりは、介護予防にもつながる取組みに男性の参加を促進していく必要がある。</p> <p>・例えば将棋など、男性がしたいこと等を取り入れたり、お誘いをするのが参加のきっかけになり、地域とつながったという報告も出された。取組みに決め手はないが、一つずつ工夫して、男性の一人きりを少なくしたいという意見が多く出された。</p>	<p>・男性も含め、これまで参加者が少なかった階層の方々の参加を促すため、銭湯での百歳体操を企画する等の取組みを行っておりますが、今後は、区民アンケート等を活用し、区内の男性の健康づくりの意識や取組みについての現状の把握を行い、男性の参加促進につなげます。</p>
<p>・おまもりネット手帳について、せっかくの手帳があっても中身の更新がされていないと宝の持ち腐れである。数を増やすことも大事だが、それ以上に内容を正しく更新していく努力が必要である。</p> <p>・手帳の更新について誰が担うのか、担い手の問題になるが、しっかり更新していくシステムをどうやってつくっていくのか。</p>	<p>・おまもりネット手帳につきましては、新規発行（加入）の促進に合わせ、記載内容に変更・追加があった際の更新が大切であると考えています。</p> <p>・令和元年度は、新たにおまもりネット手帳編綴用のスケジュール帳や名刺ホルダーを作成し、同ツールを地域行事の場等で配布する際に更新の案内を行っております。またこれと合わせ、各種高齢者向け講座や講演会等の場において更新の案内を行うなど、幅広く働きかけています。</p>
<p>・横文字が多過ぎてなかなか理解をするのがしんどい。</p>	<p>・これまでも、横文字等が多い、理解しづらい、というご意見をいただいております。注釈や補足説明を付けるなど、わかり易くする工夫を行ってきましたが、まだわかりにくいというご意見と受けとめております。</p> <p>・今後、わかり易い説明や資料となりますよう、より一層工夫していきます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の防災スピーカーは、聞き取りにくい。また、安全パトロール車のアナウンスも、音量が小さい。近所迷惑という抗議もあると思うが、聞き取れる音量にしてほしい。 ・災害時の区内小中学校の休校情報をどのように入手すればよいか知りたい。 	<p>防災スピーカーおよび安全パトロール車については、今年度中に性能向上が図られ、聞き取りやすくなる予定です。防災スピーカーはデジタル化、安全パトロール車は高出力放送設備に変更します。</p> <p>都市部においては、遮音性の高い住居や高層建築物の増加、また、雨風等の気象状況によっては、音が伝わりにくい状況が続く可能性もあります。</p> <p>テレビやラジオ等から情報を取得いただくとともに、東成区においては、区HPやLINE@、ツイッターなどの多様な情報伝達手段を用いて、区民の皆様に災害情報を伝えます。</p> <p>災害時には、各学校から保護者へのメールや電話連絡が優先されますが、区内小中学校の休校状況については、各学校HPで公開されます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の避難所開設について、平成 30 年初めての経験となったが、多数の避難所で準備ができていなくて困ったという報告があった。 ・ある地域では避難者 40 名に対し、準備がゼロに近い状況で対応ができなかった。避難所に備蓄しないといけない物品の優先順位があれば、区から提供していただけないか。 	<p>平 30 年、台風 24 号の近畿地方最接近に伴い、東成区では各小学校を避難所として開設しましたが、避難勧告等が発令されない中、自主的に避難される方を受け入れるための開設であったため、事前に食料・水などを用意していただくよう案内しました。</p> <p>また、各災害時避難所には必要最小限の物資しか備蓄していないことから、東成区としては、1 週間以上の食料や常備薬、非常持ち出し品を日頃から備えておくよう、啓発しています。</p> <p>なお、昨年の避難所開設の経験から、テレビやエアマットなどを新たに配備し、避難所能力の強化を図っています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「市民協働による地域課題解決に向けた活動の活性化」事業について、11 連合中 8 連合が取り組んでおられるということなのだが、こういった取り組み状況を広報等で知らせていただけないか。 	<p>市民協働による地域課題解決に向けた活動の活性化事業について、令和元年度は 9 地域で取り組みが行われています。</p> <p>取り組み内容については、区のホームページなどを通じ広報する予定です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「東成区の地域資源」魅力発信の取り組みについて、モノづくり体験フェスタをはじめ、親子対象での非常にいい取り組みなので、今後継続してはどうか。 	<p>モノづくりを中心とした地域資源を次世代の担い手である子どもたちに伝えるための機会として、体験型イベント「東成こどもモノづくり体験フェスタ」等を開催する予定です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラは、たくさん付けていただいているので、犯罪防止の抑止力になっているのではないか。今後も継続して設置して欲しい。 	<p>これまで、区内各小学校にこどもの見守りカメラとして設置してきたほか、公園や道路については警察の犯罪発生状況等をもとに、また通学</p>

	<p>路については地域状況を考慮して、防犯カメラを設置してきました。</p> <p>今後も東成区としては、限りある予算の中で警察や地域と連携を図りながら、地域状況に応じた様々な防犯活動に取り組んでいきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の転入に関わって、委員から様々な課題（住居、教育、コミュニティ等）についての意見が出された。 ・区ホームページでは外国人住民の主な国籍別人数はわかるが、小・中学生の人数などは出ていない。個人情報など難しいとは思いますが、できる範囲で教えていただきたい。 	<p>個人情報の特定に繋がるため、大阪市では外国籍の小・中学生の人数データを公表していません。また区としても把握しておりません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・おまもりネットについて、普及に向けて半強制とまではいかなくても積極的な介入というか、もっと伝えていった方がいいのではないかな。 ・登録数を多くしても後のメンテナンスというか、情報が陳腐化してはいけないので、そのフォローにあたり、地域活動サポーターの負担をどうしていくかが課題である。 	<p>東成区では、高齢者の方へおまもりネットや地域福祉活動の普及啓発を行っており、令和元年11月には、新たに70歳になられた約1,200人の方にご案内（チラシ等）を送付しました。</p> <p>今後もこれに合わせ、敬老会等の地域イベントや各地域での出前講座、各種講演会の場等でも引き続き周知していきます。</p> <p>ご指摘のとおり、新規登録を図る一方で既登録者の記載情報の更新も重要となります。</p> <p>地域福祉活動サポーターの負担を考慮し、各地域のふれあい喫茶等の際に「おまもりネット相談（更新）会」を実施するなど、効果的・効率的なフォローに努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに関する取り組みを、比較的若い世代にどのように伝えていくか、仕事をしているためなかなか出席できない、それでもチャンスがあれば出席したいと思っているという意見があった。 ・今後、若い世代にどのようにアプローチしていくのかは、一つの課題である。 	<p>今年度は、若い世代の集まるイベントでの骨粗しょう症検診の実施を企画し、若い世代の受診者増加を図る予定です。</p> <p>令和2年度は、健康づくり講演会も土日に開催し、子育て世代の集まる場での開催も検討しています。</p> <p>小さい単位であっても若い世代が健康に関心を持ってもらえるような機会を増やしていきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関係が希薄な男性が、地域でのつながりをどのように構築していけばよいかについて、将棋に取り組んだり、子どもたちと一緒に楽しんでいる地域もあるようだ。そのあたりが突破口になるのではないかな。 	<p>東成区の各地域では、将棋や囲碁に加え、男性が運営するふれあい喫茶や調理実習など、男性が参加しやすく参加者同士の交流が深まる活動が新たに増えてきています。</p> <p>このような地域の取組みが広がり、また、さらなる男性の参加を促進するため、東成区においても広報等で積極的に情報発信していきます。</p>

<p>・百歳体操について、18会場 21 グループで様々な取り組みられているとのことだが、あくまで住民主体でと少し突き放されているようにも感じる。</p> <p>・地域の人が多く頑張っていれば応援していたき、市が積極的に進めるのであれば、保険等も少し考えていただきたい。</p>	<p>いきいき百歳体操は、各会場で自主的に運営されているところですが、区役所では立ち上げ時の支援に加えて、健康運動指導士等を派遣した体力測定や体操の定期的な技術指導等の継続支援を行っています。</p> <p>保健師も各会場で年 2 回以上の技術支援や年 1 回のグループ合同交流会を開催し、グループ間の交流を促すとともに各グループ主催者のモチベーションの維持・向上にも取り組んでいます。</p> <p>参加者のモチベーション向上のために、希望者には参加状況が一目でわかる百歳体操手帳の配布も行っています。新たな参加者確保のために、健康展等イベント開催時に積極的な周知・啓発にも取り組んでいます。</p> <p>大阪市では、百歳体操の運営サポーター・ボランティアの方を対象として「大阪市市民活動保険」に加入しており、百歳体操の運営中にご自身に万が一事故が起きてしまった場合の補償は対応しています。</p> <p>一般の参加者の皆様においては、大阪市市民活動保険の対象外であるため、参加者ご自身やグループ単位で別途保険に加入される等のご検討をお願いしています。</p>
---	--

(4) 第5号

条例第 10 条第 1 項に基づく決議について、当該決議があった日及び当該決議の内容並びに当該決議に対し区長が措置を講じた措置の内容もしくは進捗状況、今後措置を講じないこととした場合はその理由、検討中の場合はその状況

⇒ 該当する決議なし

(5) 第6号

区長が区政会議の部会を開催した場合にあっては、部会の名称、開催日の日時、場所、出席した委員の氏名、委員に意見を求めた事項

平成 30 年度東成区区政会議 第 2 回子ども・教育部会開催概要

開催日時	場所	出席した委員の氏名	委員に意見を求めた事項
平成 30 年 12 月 4 日 19 時 10 分～20 時 25 分	東成区役所 3 階 301 会議室	田中 良和（議長）、末光京子、茶谷 儀夫、永門 武志、福永 美和子、藤井 宣昭、山口 晴康	平成 31 年度東成区運営方針（素案）について

平成 30 年度東成区区政会議 第 2 回保健福祉部会開催概要

開催日時	場所	出席した委員の氏名	委員に意見を求めた事項
平成 30 年 12 月 4 日 19 時 20 分～20 時 47 分	東成区役所 3 階 304・305 会議室	石塚 克哉（議長）、林 正 則（副議長）、石川 洋志、 大谷 慶子、北村旺加子、 徳永 政喜、羽鹿 誠一、 本間 良文、森井 フミ子	平成 31 年度東成区運営方針 （素案）について

平成 30 年度東成区区政会議 第 2 回にぎわい・きずな部会開催概要

開催日時	場所	出席した委員の氏名	委員に意見を求めた事項
平成 31 年 3 月 6 日 19 時 30 分～20 時 25 分	東成区民セ ンター 6 階 601 集会室	藤溪 達夫（議長）、中谷 誓吾（副議長）、阿形 正 一、井上 吉史、高橋 芙 美子、松田 好行、吉谷 忠之、吉本 紀美子	平成 31 年度東成区運営方針 （案）及び予算（案）の振り 返り等について

平成 30 年度東成区区政会議 第 3 回子ども・教育部会開催概要

開催日時	場所	出席した委員の氏名	委員に意見を求めた事項
平成 31 年 3 月 6 日 19 時 30 分～20 時 25 分	東成区民セ ンター 2 階 大ホール	田中 良和（議長）、末光 京子、茶谷 儀夫、東方 宏 祐、永門 武志、鍋田 仁 史、福永 美和子、藤井 宣 昭、	平成 31 年度東成区運営方針 （案）及び予算（案）につい て

平成 30 年度東成区区政会議 第 3 回保健福祉部会開催概要

開催日時	場所	出席した委員の氏名	委員に意見を求めた事項
平成 31 年 3 月 6 日 19 時 30 分～20 時 25 分	東成区民セ ンター 2 階 大ホール	石塚 克哉（議長）、林 正 則（副議長）、大谷 慶子、 下村 直美、徳永 政喜、 羽鹿 誠一、本間 良文、 三枝 直美、森井 フミ 子、米原 俊夫	平成 31 年度東成区運営方針 （案）及び予算（案）につい て

令和元年度東成区区政会議 第 1 回子ども・教育部会開催概要

開催日時	場所	出席した委員の氏名	委員に意見を求めた事項
令和元年 6 月 18 日 19 時 22 分～20 時 13 分	東成区民セ ンター 6 階 602 集会室	田中 良和（議長）、末光 京子、茶谷 儀夫、東方 宏 祐、永門 武志、福永 美 和子、山口 晴康	平成 30 年度東成区運営方針 の振り返り等について

令和元年度東成区区政会議 第1回保健福祉部会開催概要

開催日時	場所	出席した委員の氏名	委員に意見を求めた事項
令和元年6月18日 19時18分～20時18分	東成区民センター2階 大ホール	石塚 克哉（議長）、林 正則（副議長）、石川 洋志、大谷 慶子、岡倉 三郎、下村 直美、徳永 政喜、羽鹿 誠一、本間 良文、三枝 直美、森井 フミ子、米原 俊夫	平成30年度東成区運営方針の振り返り等について